

生活のきまり

身だしなみ

○夏季(夏服) 6月 1日～ 9月30日 ○冬季(冬服) 10月 1日～ 5月31日

(5月、10月は移行期間とし、夏服・冬服のいずれでも良い)

制服	<p>男 子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校指定の制服(標準学生服)。夏季は白ワイシャツで生活する。 ・ボタン(本校指定)をつけ、ベルトをしめる(色は黒・紺・茶、飾り無し)。 <p>女 子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校指定の制服(セーラー服)。夏季は夏服。 ・ネクタイ(長さを変えない)、スカート(ウエストで折らない、膝が見えない長さ) <p>共 通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイシャツの下には、体育用半袖Tシャツまたは白シャツ(無地)を着用する。 ・校内では必ず名札をつける。登下校中は名札を着用しなくてもよい。
靴下	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースカラーが白、黒、紺、グレーで、くるぶしまでかくれる。
靴	<ul style="list-style-type: none"> ・体育時に支障のない運動靴(×ハイカット、底の平らなシューズ、革靴、サンダル)
上履き	<ul style="list-style-type: none"> ・本校指定(名前を書く、かかとをつぶさない、ひもを結ぶ)
頭髪	<ul style="list-style-type: none"> ・学業や生活に支障のない、中学生としてふさわしい髪型(×前髪が目にかかる、ツーブロック、染色、脱色、パーマ、整髪料)。 ・肩よりも長い髪はゴムまたはピン止め、パッチン止めでまとめる。(ゴム、ピンの色は黒・紺・茶、ヘルメットをかぶるのに支障のないまとめ方)
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・体操服に着替える。
保健体育の授業	<ul style="list-style-type: none"> ・本校指定の体操服を着用する。 ・頭髪をまとめる際にはゴムのみを用いる。
登下校	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天や強風の時は、体操服を着て登校してもよい。 ・朝練習には、体操服または部活指定の練習着で登校をしてもよい。 ・体操服で下校してもよい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活は制服で過ごす。 ・午後の授業は体操服で受けてもよい。給食時に着替えずに昼休みに着替える。 ・午前中に体操服で受ける授業があった場合には、それ以降の授業を体操服で受けてもよい。 ・名前を必ず記入する。 ・化粧やピアスはしない。眉を剃ったり細くしたりしない。 ・首、手首、足首にネックレス、ゴム、ミサンガ、リングを付けない。

<防寒着>

アウター	<ul style="list-style-type: none"> ・コート(ピーコート、ダッフルコート) ・ウィンドブレーカー(スポーツタイプ) ・ロッカーに入り、体育の授業や自転車の運転に支障のないもの(色は黒・紺・白・グレー・ベージュ。○ダウンジャケット、中綿ジャケット) ・公的な場にふさわしいもの、カジュアルでないもの(×デニム地、トレーナー地、フリース地、革のもの、刺繍や絵などのバックプリントのあるもの等) ・登校後から、帰りの会終了時まで、指示があるとき以外は校内で着用しない。
インナー	<ul style="list-style-type: none"> ・セーター、カーディガン、ベスト、トレーナー。(色は白・黒・紺・グレーでデザインがないもの。×パーカー、フリース、インナーダウン、中綿のもの) ・ジャージや制服から出ないようにする。上着を着用する。 ・制服とジャージを同時に着用しない。
アンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・保温性のアンダーウェア ・タイツ、ストッキングをはいてもよい(女子)。 ・体操服の下に着用し、ジャージ、制服を上に着る。首元からも出ない。
防寒具	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校中にマフラー、ネックウォーマー、手袋を使用してもよい。校内では着用しない。

学校での生活

朝の登校 遅刻について	<ul style="list-style-type: none"> 7:50以降の登校。昇降口は8:00解錠。早すぎず、遅すぎない登校をする。 始業時刻のチャイムが鳴り始めた時には、荷物をロッカーに入れ、防寒着を脱ぎ、教室の自分の席に着く。それ以降は遅刻になる。 朝の会以降に遅刻して登校した時は、職員室に寄って「クラス・名前・事情」を伝えてから教室に行くこと。 登校後は静かに朝読書をして過ごす。
授業	<ul style="list-style-type: none"> 1分前着席。移動教室の場合も、1分前までに移動が終わるようにする。 授業はあいさつで始まり、あいさつで終了する。 授業に必要な物は机の中やバッグ等に入れて、机の上には置かない。 教室の授業は原則として制服とする。 体育時、または指示のあった授業時には、体操服に着替える。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間中に次の授業の準備を済ませる。
給食	<ul style="list-style-type: none"> 給食当番は4校時終了後、ただちに白衣・三角巾、マスクを着用して、安全・衛生に気を配って運搬をする。 手洗い後12:35までには全員が着席して、配膳が始められるようにする。
清掃	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に終了できるように、分担された場所を、黙って協力し合って清掃する。 終了後は反省を行い、すぐに教室にもどり帰りの会を行う。
集会時の移動	<ul style="list-style-type: none"> 教室から名前の順に並んで、無言で移動する。時間内に整列できるようにする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 他の教室に入らない。他学年のフロアに入らない。 先生や来客者に進んであいさつをする。敬語を用いる。 清掃時以外はベランダには出ない。 昼休みの教室内では、学校で用意したトランプでの遊びを認める。 用事のない生徒は、帰りの会后15分以内に下校する。 下校時に机の中は読書用の本のみ。それ以外はロッカーに整理する。 教科書やノートの持ち帰りは、家庭学習を考えて持ち帰る。家庭学習は毎日実施する。

持ち物・自転車

通学用バッグ	<ul style="list-style-type: none"> 「スクールバッグ」または「両肩で背負えるリュック」 リュックのみで登校可（○背負って登校。×スクールバッグを背負う） ロッカーに入れる。大きさは全てのバッグがロッカーに入る大きさ 通学用バッグとして斜め掛けをするバッグ、バッグの口が閉めることのできないバッグを使用しない。 安全に配慮して持参する。自転車の前かごに重い荷物を入れない（前かごだけに荷物を入れない）。 キーホルダー等は1つだけ。
自転車通学	<ul style="list-style-type: none"> 安全基準適合の自転車。ライト、ベル、反射器、荷台（後荷かご）、両立スタンド、泥よけがついていること。改造をしない。本校の鑑札を後ろ泥よけに付ける。 「自転車通学許可願」を提出する。自転車通学の約束を守れない場合は、自転車通学を許可しない。 ヘルメットを着用し、あごひもをしっかりと締める。 通学路を安全に気をつけて通行する。法令を守る。 雨天時は、カッパを着用（×傘さし運転）。
駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 指定されたブロックに駐輪する。 自転車には、ヘルメット、荷ひも、雨具、防寒着（具）のみ置いてよい。 カギは必ず閉め、自分で確実に管理する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 学業に必要なもの以外は学校に持ってこない（×携帯電話、ゲーム機、漫画、カッター等）。